

令和元年度事業計画

1 今年度は、初年度であることを踏まえ、会員の拡大と交流に重点をおくとともに、11月に開催される国際養蚕委員会日本大会におけるPR活動や情報交換活動等を通じて、協議会の活動を広める。

また、会員相互の交流の場としてネットワーク交流会を開催する。

2 また、各分科会においては、次の取組みを行う。

(1) PR分科会

各分科会のPRコンテンツを取りまとめ発信する。具体的には、簡易版HPの立ち上げ、国際養蚕委員会日本大会展示（ブースの企画運営）、日本のオリジナルシルクコンテンツ制作（オーガニックシルク規定、ロゴ、キャッチコピー）を行う。

また、R2プロジェクトに向けたPR企画の立案を行い、各分科会の取組みを側面支援していく。

(2) 蚕糸分科会

養蚕農家との情報交換会を開催する。また、蚕種業者や稚蚕飼育関係者とも情報交換会を開催する。これらを通じて、養蚕関係者のネットワーク化を進める。

また、令和元年度の繭生産量等の情報収集を行う。

(3) 新機能シルク分科会

農家段階での生産が始まっている緑色蛍光シルクの特性を生かした新たな需要を創出するため、試作品の公募を行う。また、開発を進めている新機能シルクのPRコンテンツの作成を行う。

(4) 繊維分科会

国際養蚕委員会日本大会への出展、高付加価値織技術を用いた製品の試作、プロテインボンド製法を用いた商品企画等に取り組む。

(5) 新用途分科会

医療機器、化粧品、食品、繊維製品、化学等の各種業界から、シルクを活用した製品に対するニーズを調査するとともに、「知」の集積と活用の場として研究開発プラットフォームとの連携を構築する。

また、国際養蚕委員会日本大会への出展を行うとともに、PRコンテンツの作成を行う。